

第65回 全日本実業団対抗 陸上競技選手権大会

2017年 9/22 (金) ~ 9/24 (日)

会場：大阪府大阪市 ヤンマースタジアム長居

いよいよ秋のレースが始まりました。来たる10月22日の駅伝予選会に繋がる走りをして選手たちの気合も十分です。菊池選手が3000m障害で自己新記録を更新し3位に入賞するなど、女子陸上競技部が3日間の熱戦を繰り広げました！



SUZUKI CHIHARU



KIKUCHI RISA



OTSUKA RIO



OZAWA NATSUMI



OBARE DORICA

9/22 【fri】
19:00start
10000m
(1組目)
SUZUKI CHIHARU



9/23 [sat]
14:15 start
3000m
障害
KIKUCHI RISA



9/24 [sun]
14:25 start
Jr.3000m
(1組目)
OTSUKA RIO



9/24 [sun]
16 : 30start
5000m
(1 組目)
OZAWA NATSUMI



9/24 [sun]
16 : 50start
5000m
(2 組目)
KIKUCHI RISA
OBARE DORICAH



結果

種目	氏名	記録	順位	
10000m (1組目)	鈴木 千晴	33 : 59 : 70	28位	
3000m 障害	菊池 理沙	10 : 35 : 02	3位(入賞)	自己新記録
Jr.3000m (1組目)	大塚 理央	10 : 26 : 36	36位	
5000m (1組目)	小澤 夏美	16 : 25 : 98	40位	
5000m (2組目)	菊池 理沙	16 : 34 : 42	42位	
	オバレ・ドリカ	15 : 52 : 03	17位	



加藤宏純監督

いろいろと大会が重なりうまく調整して調子を合わせるのが難しいのですが、駅伝では必ずしっかりと走りをしたと思いますので、今後とも応援よろしくをお願いします。



鈴木千晴選手

まだまだスピードについていけておらず、他のチームとの差を痛感しました。ただ昨年もこの大会をステップに、駅伝では調子を上げられたので、今年もしっかり調子を上げていけると思い取り組みます。必ず駅伝では自分がエース区間を走りチームのために頑張ります。今日はありがとうございました。



2日連続で出場しました。障害では3位入賞することができ、これまでの鍛錬の粘り強さを出すことができました。5000mでは、昨日の疲れで体が重くなることは分かっていたのですが、我慢しなければいけないときに、我慢できなかった自分の弱さがありました。申し訳ありませんでした。



菊池理沙選手



大塚理央選手

怪我の回復から1ヶ月経っていない中での出場でしたが、弱い自分が出てしまいました。今日のレースでは、苦しくなってからの走りが課題だと実感しました。怪我から立ち上げたばかりなんです、チームに貢献できるようにがんばります。





レースが動いたときに、自分はそれに反応することができませんでした。それは、自分自身の自信のなさが出てしまったからです。これからしっかり練習を積んで、大会ではリラックスして自分の走りができるようになります。

1年目ですが、いっぱい使ってもらえるようになります。



小澤夏美選手



次に控えた駅伝に向けて、しっかり走る。

初めて日本に来た両親に、わたしのレースを見てもらうことができ、良かったです。



オバレ・ドリカ選手



思うような結果が出せず悔しさをにじませた選手もいましたが、すぐに気持ちを切り替え課題に向き合い次の目標に向かいます。予選会まであと一ヶ月弱。予選会が行われる福岡県宗像市でのコース試走や菅平合宿を乗り越え、チーム一丸となって予選会突破に向け進んでいきます。引き続き応援よろしくお願いします！

